

熊本地震支援状況報告

8月1日から熊本地震の支援をおこなっております。

- ・おくだけ電源
 - ・仮設トイレサラオ
 - ・給水タンク
 - ・TKBインフラユニット
- の設置を行いました。

令和8年熊本地震 災害支援活動報告書

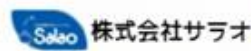
支援実績報告

8月1日～ 支援開始

安全とエネルギーと環境を創造する



どこへでも、必要な場所に。



安全で人と道を未来へつなぐ



一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。
引き続き、必要な支援をおこなってまいります。

支援活動の概要

停電・断水が続く地域へ、4種類の設備支援を実施

発災後、3社合同チームを編成し、日田営業所等を拠点に現地調整と資機材搬入を進めました。他団体の活動と役割を調整し、必要地点へ設備を配置しました。

場所：Gテクノ日田営業所にて



おくだけ電源	快適トイレサラオ	給水タンク	TKBインフラユニット
3セット	U型9台／P型4台	18基	1基

※ おくだけ電源は1セットは、単独。2セットは2連結

※ サラオP型2台はTKBインフラユニット1基の構成設備に含まれます。

メディア掲載

新聞 3社

- ・中日新聞
- ・東愛知新聞
- ・東日新聞

各社とも8月18日



TV 3社

- ・メ〜テレ 4回
- ・ANN 1回
- ・熊本放送 1回



メ〜テレ 1:00ごろから紹介

<https://youtu.be/lbBMtQJo3DI?si=6VphlXBByL7QYCCQG>

おだけ電源の支援

3セット

場所：八代市 八代市災害ボランティアセンター
用途：TKBインフラユニット、トイレ5基用の電源として



場所：氷川町 NGO結 災害拠点
用途：トレーラーハウス用電源



運搬時
おだけ電源2基



場所：宇城市 なごみ温泉 日本財団災害対策拠点
用途：事務所ハウス用電源として



● 折りたたみ太陽光発電と蓄電池を組み合わせたオフグリッド電源を配置しました。
災害対策拠点等でご利用いただきました。

○発電 & 蓄電容量

単独の場合 (SPS-1010)
・ 発電2,560W 蓄電10KWh

2 連結の場合 (SPS-1010 + SPS-0020)
・ 発電5,120W 蓄電30KW h

仮設トイレサオの支援 計13台

U型9台、P型4台の支援を行いました。

場所：八代市災害ボランティアセンター



場所：宇城市 団地



R8年 熊本地震の特色

場所：宇城市 団地



場所：八代市災害ボラセン



↑ 下水が使用可能な個所が多く、汚水桝に直結しました。



↑ 給水は民間団体と協力して行いました。

● 団地、寺院、団地、支援拠点などへ配置し、断水下でも清潔なトイレ環境を確保しました

給水タンクの支援

18台

2件の保育園へ給水タンクを設置しました。

水が無いために閉園せざるを得ない状況だったそうで、
設置が終わると園長先生や職員さんからとても喜んでいただきました。

事例① A保育園



事例② B保育園



「再開の見通しが立ち、子どもたちの笑顔が戻ってくることが何より嬉しいです！」
と、園長先生・職員の皆さまから感謝のお言葉をいただきました。



場所：宇城市 日本財団ヤードにて



● 保育園、病院、寺院など、地域生活を支える為の「井戸ポンプ付きタンク」を支援しました。トイレだけでなく、シャワー、洗濯にも活用いただけてます

場所：氷川町 NGO結 災害拠点



洗濯機、エアコン、灯油ボイラー



温水シャワー



水洗トイレ×2



深型シンク×2



● 荷下ろし後、給水と排水を接続するだけで、水回りがすべて使用できるようになり、生活環境が大幅に改善されました。